



ま とく れい こう 励徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



夏休みには石橋を見て回りました
第16号
R5.8.28発行
文責 永田 功臣

2学期は”自分の力を試す”学期

2学期始業式の言葉から

夏休みはいろいろな体験ができたでしょうか。水難事故や交通事故のニュースが相次ぎ、心配もありましたが、みんな揃って2学期のスタートが切れたことをうれしく思います。

さて、2学期は真ん中の学期であり、一番長い学期です。1学期につくった今の学年の土台をもとにしていろいろとチャレンジし、”自分の力を試す”学期だと思います。夏休みにもいろいろな体験をしたことと思いますが、校内でもいろいろなことにチャレンジして、自信をつけていってほしいともいます。

また、2学期は外部から学校の様子を見に来られたり、外に出かけたりすることが多くなります。昨年度も設定をしましたが、2学期は励徳小学校のすばらしさをぜひ外に向けてアピールしてほしいものです。

R5 励徳プライド

- ① あいさつ
- ② 発表
- ③ 考動

※ それぞれの質を高めよう!

そこで、昨年度同様励徳小学校のすばらしさを示すものとして、令和5年度版の「励徳プライド」を考えてみました。覚えやすいようにキーワードは「れいとーく+（プラス）」です。昨年度とほとんど項目は変えていません。1学期から取り組んでいる「礼トーク」に児童会のスローガンをプラスしています。礼は①あいさつ、トークが②発表、+は児童会で大切にしている③考動です。昨年度は、「手伝い」という項目を入れていましたが、そういう心遣いも含めて考えて動くという意味で「考動」にしています。

1学期の終わりに、3・4年生は甲佐小の赤星桂子先生をお招きして、道徳の授業をしていただき、先生方も一緒に勉強しました。「心と心のあくしゅ」という題で、苦労しながら坂道を歩いているお祖母さんにどう対応するか、みんなで考えました。「考動」とは、そのような姿をイメージしています。



「挨拶と一緒に一言声をかけ、困ったりしている様子があれば、何かできないかと考えて動く」2学期はそのような励徳小学校を目指すとともに、外部に「励徳プライド」としてアピールしていきましょう。

☆はらから☆

～キラリと光るために～

呼吸の大切さについては以前書きました。でもなかなか声を出せないのが現実です。気持ちを落ち着かせ、前向きな気分にするために、一度ゆっくりと息を吐いてみるのもいいかもしれませんね。そうすることで、息を吸うことができ、自然と大きな声も出て、返事やあいさつもできるようになると思います。

「キラリと光る」ために息をすって
おなかから大きな声で返事やあいさつをがんばる



「だれよりも元気な声で」
四年 中村 陽希

もっとサイエンス



夏休み期間のお盆休みに星空を観測する機会がありました。「夏の大三角」を探したり、「土星の環」を望遠鏡で見たりしました。また、ちょうど「ペルセウス座流星群」が見頃の時期で、運よく2つの流れ星を見ることができました。

ところで、流れ星はどうして流れるのでしょうか。星の説明をしていただいた方の話によると、「すい星（ほうき星とも呼ばれる）」が宇宙空間に砂粒みたいなものをまき散らしていて、その場所を地球が横切る時に、大気圏で燃えて光るそうです。毎年同じ時期に流れ星が多く見えるのは、そういう意味があります。

私は、それを聞いて一つ心配しました。すい星が砂粒をまき散らした地点と地球が重なるということは、すい星の軌道と地球の軌道が重なることになり、衝突する可能性もあるのではないかと。星に関して、みんなもちょっと調べてみてください。

今後の主な行事予定

- 7日（木）5年三校交流会
砥用中生職場体験学習（～8日）
- 8日（金）委員会活動
- 14日（木）教育委員会学校訪問（5時間授業）
- 19日（火）とくとく算数、3・4年茶道教室
- 22日（金）クラブ活動
- 26日（火）児童集会
- 28日（木）5年集団宿泊教室（～29日）

